

特集

大阪大学接合科学研究所

第19回 産学連携シンポジウム

2022年 6月30日(木) 13:00~16:45

大阪商工会議所 地下1階 1号会議室

主催 大阪大学接合科学研究所 大阪商工会議所 一般社団法人 生産技術振興協会

開会のご挨拶



大阪大学接合科学研究所 所長
田中 学 氏

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックによる影響により、本研究所の活動においても、2020年度と2021年度は、ほとんどの会議やイベントがオンラインとなりました。本産学連携シンポジウムにつきましても、この2年間はオンライン開催となりました。この度、感染症拡大防止の対策に努めながらも、本シンポジウムを3年ぶりに対面式で開催できることは大きな喜びであります。また、数多くの皆さまにご参加をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、接合科学研究所は、溶接・接合分野における世界屈指、我が国で唯一の総合研究所であり、材料と材料をつないで製品化・構造化する上で必要不可欠な溶接・接合技術を学術的に追求し、科学的に深化・発展させ、高い信頼性と安全性を保証する溶接・接合部を製品・構造物に提供することで人類社会に貢献しています。時代の潮流によって変化する社会の多様なニーズに応えるために、従来の常識では

解決が難しい課題設定に挑戦し、その解決のために新しい学問領域を切り拓くべく、接合プロセス、接合機構、接合評価を追求する3研究部門と、微粒子の接合・積層を中心とする先進材料加工技術に関する附属多次元造形研究センターが両輪となって、接合科学の発展に努めています。

ものづくりの基盤となる溶接・接合の基礎から応用に至るまでの研究を通じて、民間企業との共同研究、受託研究などを活発に推進するとともに、大阪商工会議所や生産技術振興協会など地域の経済団体や産業界との多様な連携を行い、溶接・接合分野の技術イノベーションに貢献したいと考えています。また、他の学術分野を巻き込んで、異分野の研究者との共同研究を推進し、新学問領域の創出とその体系化によって、接合科学の持続的発展を目指しています。すなわち、「社会の出島」となる新しい共同利用・共同研究体制を構築し、質の高い、そして実践力のある共同研究を推進してまいりたいと思います。

本研究所では、毎年「産学連携シンポジウム」を開催し、本研究所のシーズを情報発信するとともに、産業界のニーズを捉えて実社会とのマッチングをはかり、新たな共創の機会を探求する場としています。まさに、本シンポジウムは「社会の出島」であり、本学のモットー「地域に生き世界に伸びる」を標榜した産学共創研究の起点であります。

本研究所の略称はJWRI (Joining and Welding Research Institute) ですが、各頭文字はJoining & welding, World, Resource, Innovationとも置き換え

られ、「ものづくりを支える・変革する」をスローガンに、モノをつなぐ・世界をつなぐ・人をつなぐ・未来をつなぐ活動を行っております。本シンポジウムが産業界との文字通りの「つなぎ」となり、「ものづくり」のイノベーションにつながる場となることを期待しています。

最後になりましたが、共催となります、大阪商工会議所ならびに（一社）生産技術振興協会の温かいご協力に対して心よりお礼申し上げます。

